

このページは、小・中学生に向けて梅光学院大学子ども学部子ども未来学科(地域共生ゼミ)の学生が作っています。

※イラスト 渡邊志帆さん

# しものせき キッズページ

たてもものたんけん からとふきん  
「建物探検(唐戸付近)」



▲旧下関英国領事館。今年7月にリニューアルオープンし、領事室やギャラリーの他、食事ができるカフェなどがあります。

## 下関南部町郵便局



木造建築の古い建物が少ない理由を知っていますか。過去、2回の空襲でほとんど焼けてしまったからです。今回は、唐戸周辺で見られる古い建築物を紹介しします。

唐戸にある下関南部町郵便局は、明治33(1900)年に建築されました。現存する下関の洋風建築としては最も古く、国内最古の現役郵便局舎であり、登録有形文化財となっています。2階は当時、電信局として使われていました。1階は100年経った今でも、郵便局として使われています。

## 旧下関英国領事館



旧下関英国領事館は、明治34(1901)年9月に赤間町に開設されました。5年後の明治39(1906)年に、現在の赤れんが造りの建物が建てられました。太平洋戦争が始まる前は、8カ国の領事事務が下関で行われていました。領事事務が下関で一番長い国は、イギリスです。現存する最古の領事館建築であり、平成11(1999)年5月に国の重要文化財の指定を受けました。平成20(2008)年12月から保存修理のため休館していましたが、今年の7月に再開館し、玄関上部の紋章も復元されています。建物の上部には、唐戸地区の歴史や建物の魅力を伝える展示室があり、カフェで休憩することもできます。

## 旧秋田商会ビル



旧秋田商会ビルは、大正4(1915)年に完成した神戸以西で最初の鉄筋コンクリート造りの事務所建築と言われています。秋田商会は木材取引を中心とした商店・社で、1階は洋風の事務所、2階の住居と3階の客間は和風となっていて、格調高い書院造りになっています。この建物の特徴は、畳の部屋に洋風の窓があるなど、和と洋が入り交じっていることです。建物を内外からじっくりと見てみてください。

屋上には世界で一番か2番目に古いのではないかとされる屋上庭園と茶室があり、そこで茶会を開いていたそうです。建物の一番高い部分には塔屋があり、木材を載せた商船は、この塔屋の光を目印にして、下関に帰って来ていたのではないかとされています。

現在1階は下関観光情報センターになっており、市内の観光情報を発信する他、金子みすゞと弟の雅輔のコナーもあります。ここで大正の下関の文化を体験しませんか。



旧秋田商会ビル



10月号の編集記者(左から)原田陽さん、伊藤靖子さん



▲旧秋田商会を訪れたら、ぜひ広い畳の部屋に入ってみてください(スリッパはぬいでください)。



▲南部町郵便局内の「タラヨウの庭」。郵便局のシンボルツリー・タラヨウに由来しています。